

Hikari

vol.53

宝陽病院 × 広報誌



私たちの
「働き方」
改革

Hanyou Hospital

今が 楽しい 透析室

S M I L A C E

しかし、普段の透析室は、患者の状態観察や健康状態、日常生活の指導を担当患者以外でも看護師が聞き取りを行い、1日の水分量をCE科のスタッフと一緒に確認し、指導等を行っています。患者が要望すれば、食事指導の他透析患者にあったおやつの作り方、レシピなども患者に準備し、普段のおやつの参考にさせていただけるよう日々の生活に合わせた指導なども行っています。



私たち透析室は、西山医師をはじめとして、臨床工学技士（CE科）工藤主任他5名と看護科8名計14名で透析業務を行っています。患者数は、現在83名が透析治療を実施しています。

一人に対しての患者数が多いか少ないのかわかりませんが、それぞれの役割と責任を持ち日々業務にあたっております。

透析室スタッフは、常に連携を取り穿刺や回収透析中の患者の状態を観察しています。穿刺・回収を行う時間帯は、スタッフ全員が緊張状態で業務にあたっていることが多く穿刺後の患者観察の時間とはまた違った表情をしています。





また、透析患者は透析を行うことでの外出制限や旅行などの制限が多く、特にコロナ禍になってからは、外出することが出来ない患者が多くなりました。患者と向き合いながら少しでも楽しさを共有したいスタッフ一同の思いから、去年は第一弾として、クリスマスにサンタクロース…とはいかなかったのですがトナカイに扮した、CE科の主任が患者に挨拶、実際のユニホームに患者がリハビリで作ったビーズ細工を縫い付けて…恥ずかしがりながら患者にクリスマスを勝手にお祝いしました。



第2弾は、透析患者全員にお正月のメッセージカード食事制限が多く食べ物を配りたかったのですが食事制限を考えウサギに扮してお正月気分を味わいました。写真を見ていただくとわかるように私たちも患者と一緒に楽しいお正月を過ごせました。

そして2月には、邪気を払っていただければ…鬼に扮したスタッフが患者の周りを行いました。最初はみんなが元気になれば…と思い行ったことがやっている私たちが元気になっていました。患者のためにと考えていたことでしたが、患者の笑顔をもらうことで私たちスタッフが元気になることが出来ました。

3月には、一足早く外来患者入り口、更衣室前に宝陽ギャラリーを設け桜の写真や鳥の写真などを飾りました。

まだまだたくさんのイベントを企画し実施して患者、私たちが元気になるようにと考えています。

私たちの病棟は、透析患者が多く入院しておりADL区分2、3が半数を占めている病棟です。急性期以降の慢性疾患に対し予防看護を中心に多職種との連携をしながら、患者にとっての最善を目指し日常生活のケアを行っています。医療療養病棟ならではのケアやアクティビティを自部署のブランドとし、スタッフ一人一人が意識して取り組んでいます。



2 東病棟



病院機能評価では特に透析患者に教育指導として活動している「スカイビーンズ」の取り組みに関心を示してくださり、太鼓判をいただきました。日頃の看護・ケアを振り返り、今後の更なるステップアップを図る良い機会となりました。

これまで行ってきたトリプルゼロ活動（身体拘束ゼロ・褥瘡発生ゼロ・SPDラベル紛失ゼロ）を意識しながら、スタッフが協力し合い、更なる看護の質の向上を目指しています。

F I S H 哲学

FISH（フィッシュ）哲学とは、アメリカ西海岸のさびれた魚市場で「楽しむ」「喜ばせる」「注意を向ける」「態度を選ぶ」という4つのマインドを導入したところ、有名な魚市場へと生まれ変わった実話で知られるマネジメント手法です。2東病棟では、フィッシュ活動の一環としてナースステーションの中にはスタッフの“推し達”を飾って癒されながら頑張っています。また5S（整理、整頓、清掃、清潔、しつけ）活動も力を入れて頑張っています。



伊藤 奈緒子

2022年8月より3西病棟の師長になりました。障害者病棟は、重度の意識障害がある患者や、肢体不自由で障害者手帳を持つ患者が主に入院している病棟です。寝たきりの患者がほとんどで、日常生活のすべてにおいて援助が必要となります。

爪を切ることも、髪を洗うことも自力ではできません。話すこともできないため、意思表示をすることも困難な患者が多いです。そのため、意思疎通を図ることが難しく、私たちが行ったケアを患者はどのように感じているのか不安になる時もあり

ます。そのような中で、患者が笑顔を見せてくれることがあり、うれしく思う瞬間です。また、御家族から感謝の言葉をいただくこともあり、その言葉を励みに業務にあたっています。

昨年度は、「専門職として自覚を持ち、安心できる療養環境を提供する」を目標に取り組みました。今年度もよりよい看護を提供し、患者の皆様が安心して療養できる環境作りを目指し取り組みたいと思っています。これからもどうぞよろしくお願い致します。

2023年7月17日（月）奥州市文化会館Zホールにて、社団医療法人啓愛会と社会福祉法人美楽会・清智会による合同発表会を4年ぶりに開催します。

合同発表会とは、啓愛会グループの4病院と老人保健施設の3施設、美楽会・清智会の各1施設からそれぞれ1題ずつ「業務改善」や「患者サービスの向上」といった活動報告や研究内容を発表する一大イベントです。当院からは院内予選を通過した、2西一般病棟と放射線科が代表となりました。今年は4年ぶりの開催ということもあり、代表者も身を入れて準備を進めています。個人としても数百人の前でプレゼンテーションする機会は人生に一度あるかないかの出来事かと思いますのでこれを“好機”と捉え、法人の発展と活力になるような一日にしたいと思います。



社団医療法人 啓愛会
社会福祉法人 美楽会
社会福祉法人 清智会

発表

- ②レク日誌に記録
 - ➡ 表情、反応を記載
- ③カンファレンスで報告
 - ➡ アクティビティレクのP
看護補助者で共有



“4年ぶり”

合同発表会 2023

通所リハビリテーション × 作品



在宅総合ケアセンター宝陽のご案内

在宅ケアセンターでは、ケアマネージャーが常駐しており、在宅サービスに関するご相談を承っております。

- ✓ 介護方法やお世話で悩んでいる方
- ✓ 自分の住んでいる地域でどのようなサービスが受けられるのか知りたい方
- ✓ ベッドや車椅子を借りたい方

こんなとき、気軽にご相談ください！！

営業日：火曜日～日曜日

営業時間：8:30～17:00

定休日：月曜日・祝日・年末年始・7月1日



在宅総合ケアセンター宝陽

Hikari

宝陽病院 × 広報誌

次号 2023年8月頃 発行予定

財団法人日本医療機能評価機構認定病院

社団法人 啓愛会 宝陽病院

〒028-3111 岩手県花巻市石鳥谷町新堀15-23

TEL：0198-45-6500 FAX：0198-45-6765